

「ひらおで暮らす」を支える

おまち

ひらお社協だより

12.6発行

2024 No.222



11月21日、令和6年度地域福祉セミナーを開催しました。5年ぶりの開催となった今回は、九州大学大学院人間環境学研究院教授 高野和良氏を講師にお迎えし、『平生町の地域福祉の現状とこれから～活動を支える方々の姿から～』という演題でご講演いただきました。当日は、町内でボランティア活動やサロン活動に取り組まれている方々をはじめとした、105名の皆さんが参加されました。(講演の詳細は次ページをご覧ください。)

【編集・発行】

社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

平生町大字平生村 618-2 あいあむ

TEL 56-8000 FAX 56-8020

✉ mail fukushi@hirao-shakyo.or.jp

🌐 HP https://hirao-shakyo.or.jp



ひらお社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

受賞おめでとうございます

令和6年度厚生労働大臣表彰

平生町立平生中学校

永年にわたり取り組まれている「ふるさと体験学習」や「ひらお手伝い隊」等のボランティア活動の功績が特に顕著であるものとして、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

平生町社会福祉協議会会長表彰

11月21日、平生町武道館にて表彰式典を執り行い、以下の方が受賞されました。

〇いきいきサロン

ささゆり会 サザンひらお のぎくの会 ルンルン平生
平生町クロケット会 ラプリー平生 びじよ会

〇民生委員・児童委員

宇野保弘 寶城俊成 松村行郎
向井信博 吉村正憲 (敬称略)



地域福祉セミナーを開催しました

コロナの影響により中止が続く、この度5年ぶりに開催した地域福祉セミナーでは、九州大学大学院人間環境学専攻教授 高野和良氏を講師にお迎えしました。『平生町の地域福祉の現状とこれから～活動を支える方々の姿から～』と題し、今年4～6月にかけて実施した「平生町の地域福祉活動のこれからの考えるアンケート」の調査結果を交えながらご講演いただきました。(調査結果の詳細は次ページをご覧ください。)

地域の皆さんが活動に対して抱かれている思いや活動を通して感じておられる課題等をもとに、今後も町内で地域福祉活動を継続していくため、次の世代へつないでいくために大切なことについてお話しいただきました。そして、人と人のつながりが絶えないよう日頃からお近所や住民同士で話す・話し合う機会をつくること、気軽に相談できる仕組みや声を出しやすい「困った時に「困った」と言える)地域づくりに向け、住民の方々と行政・社協とが協力・連携することの重要性を伝えられました。参加者の皆さんからは、「多くの問題点や実態等をお話しいただき、次につながる内容を自分なりに分析することができた」「少しでも多くの若い人たちに担い手になってもらえるよう動かないといけないと思った」「次の世代への口コミや声掛けが大事だと思った」「もっとボランティア活動を楽しみながら積極的に歩んでいきたいと思った」といった感想が寄せられ、地域福祉活動の将来について考える有意義な時間となりました。



「平生町の地域福祉活動のこれからを考えるアンケート」

地域福祉セミナーの中で発表いただいた、「平生町の地域福祉活動のこれからを考えるアンケート」の調査結果の一部をご報告いたします。

実施期間：2024年4月23日～6月14日
 調査対象：平生町の地域福祉活動の担い手
 (ボランティア団体、いきがい助け合い応援事業登録グループ、コミュニティ協議会、学校ボランティア他)
 回収数(回収率)：235人(82.2%)

○地域福祉の活動への意識

- ① 活動は楽しい 75.1%
- ② 地域の福祉を任されていると感じる 36.1%
- ③ 地域の人と協力して活動するのは楽しい 77.8%
- ④ 活動の仲間とのつきあいは楽しい 81.7%
- ⑤ 行政や社会福祉協議会の職員と一緒に活動するのは楽しい 57.5%
- ⑥ 活動にはお金がかかる 19.3%
- ⑦ 活動には時間を取られる 50.9%
- ⑧ 活動には体力的に負担を感じる 33.0%
- ⑨ 活動に責任を持つことが大変である 47.3%
- ⑩ 活動を自分たちの代でやめたくない 63.7% (複数回答)

○地域福祉の活動にとって大切な条件

－仲間・つながりとリーダーの必要性－

- ① 活動拠点の確保 2.4%
- ② 活動資金 7.7%
- ③ 活動を進めるリーダー 25.4%
- ④ 活動を進める組織 10.0%
- ⑤ 活動のための情報共有 4.3%
- ⑥ 活動のための仲間・つながり 45.9%
- ⑦ その他 4.3%

○地域福祉の活動と有償性

－運営費として団体への報酬は4割弱の方が容認－

- ① 活動の運営費であれば「団体」として報酬を受け取っても良い 37.3%
- ② 活動の運営費のほかに交通費などの実費くらいは「活動者」として受け取っても良い 24.4%
- ③ 活動の運営費と実費のほかに日当くらいの謝礼は「活動者」として受け取っても良い 12.9%
- ④ 活動の運営費になっても、報酬はまったく受け取るべきではない 9.8%
- ⑤ わからない 15.6%

○活動継続に最も必要なこと

－「行政や社協へ相談できること」が最も多い－

- ① 定例会などの会議に行政や社協に参加してもらう 7.8%
- ② 困った時に行政や社協に相談できるようにする 35.8%
- ③ 行政や社協に専門職員を配置する 3.9%
- ④ 支援に必要な個人情報の共有の仕組みをつくる 5.9%
- ⑤ 活動への地域住民の理解や協力をすすめる 22.5%
- ⑥ 困った時に仲間同士で気軽に情報交換したり、相談できる仕組みをつくる 16.7%
- ⑦ 活動の課題を地域の様々な団体と共有する仕組みをつくる 6.4%
- ⑧ その他 1.0%

ほうこく
ご報告

おうえんこうざ セカンドライフ応援講座

がっ にち から がっ にち かいさい ぜん かい ひょうき こうざ ないよう しょうかい
9月26日から11月6日まで開催した全4回の標記講座の内容をご紹介します。趣味・健康・生活・生き
がいなどさまざま してん
がいなど様々な視点からセカンドライフの過ごし方を一緒に考えました。

にちめ
1日目 (9/26)

「好きなことでつながる仲間～健康麻雀体験会～」 いきいきサロン 健康麻雀の会

のう トレにもなる けんこう 麻雀のルールや楽しみ方を 初心者の方にも
丁寧(ていねい)にわかりやすく 教えていただきました。おしゃべりも大事な
健康麻雀。初対面(はつたいめん)の参加者同士でも 会話が弾んでおられました。



時間を忘れて楽しめました



ストレッチの必要性がよくわかった

にちめ
2日目 (10/11)

「体を育む～いつまでも動ける体づくり実践編～」 健康運動指導士 和木 宏泰 氏

「好きなことをするためには体のケアが必要」 「1日5分でも自分の
体のために時間(じかん)をつくりましょう」 「筋力(きんりき)をつけるよりまずは可動域(かどういき)
を広げることが大事(だいじ)」 などのお話や、実際に体を動かしながら ストレツ
チの方法(ほうほう)を 教えていただきました。

にちめ
3日目 (10/23)

「想像力と創造力を身につけて 庭木の手入れをしてみよう」 樹木医・造園技能士 盛田 節男 氏

梅(うめ)や松(まつ)、貝塚(かいづか)、もみじなど 様々な樹木(じゆもく)の手入れ(てい)の方法(ほうほう)につい
て実際に樹木(じゆもく)を 剪定(せんてい)しながら 説明(せつめい)いただきました。参加者(さんかしゃ)の皆
さん(みなさん)もご自宅(じたく)の樹木(じゆもく)の枝(えだ)や写真(しやしん)を持参(じさん)され、具体的
なアドバイス(あだいぶ)を受けておられました。



知らないことがたくさんあり、
とても勉強になりました



年を重ねることが
楽しになった



にちめ
4日目 (11/6)

「生き方再考！ ～世代をつなぎ、共に生きる～」 やまぐちネットワークエコー代表 西山 香代子 氏

「山口(やまぐち)きらめき財団(ざいだんこうし)講師(こうし)・アドバイザー(あだバイザー)派遣(はけん)事業(じぎょう)」
現在の社会(げんざい)の状況(じやうきょう)や課題(かだい)を踏まえて、人生(じんせい)100年(なんじだい)にお
いてセカンドライフをどのように(どう)過ごすのか、楽しく(たの)お話し
いただきました。講座(こうざ)終了(しゆうりゆう)後(ご)には、昼食(ちゆうしょく)交流会(こうりゆうかい)があり和やか
な時間(じかん)を過ごされました。

わたしたちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちへ!
 ー 福祉の輪づくり運動情報 ー

ひらお ちく
平生地区

～ふれあい推進員研修会と視察研修～

同地区社会福祉協議会の皆さんが、防災をテーマにふれあい推進員研修会と視察研修を実施されました。研修会では、平生町役場総務課指導の下、災害図上訓練を行いました。この訓練は地域の防災力向上を目的としており、グループで自宅周辺の地図に危険箇所等を書き込み、災害が発生した際にどのように行動すれば良いのか、平時からできることは何か等話を合われました。

視察研修では、岩国市にある「いわくに消防防災センター」にて、地震や火災時にどのような状況になるのかを体験されました。研修や視察を通して、地域防災における課題や地域で話し合いを重ねることの必要性について共有されました。



おおの ちく
大野地区

～ふれあい推進員研修会開催～

10月22日に同地区社協の皆さんが標記研修会で、「災害は突然やってくる!～我が家で地域で防災対策～」という平生町の出前講座を受講されました。災害は普段の備えて軽減できるということや、自宅の耐震診断やいつもの食材を多めに購入して備蓄する「ローリングストック」について学ばれました。

研修の後半では、避難所で使用する段ボールベッドやパーティション TENT を実際に組み立て、避難所での生活がどのようなものになるのかを体験されました。



がくしゅう てつだ
学習のお手伝い

わたし おも かんが
私たちにできる“思いやり”を考える

11月11日と18日、熊毛南高等学校の1・2年生を対象にしたボランティア講座のお手伝いにかが、車いす体験と高齢者疑似体験の2つを実施しました。車いす体験では、車いすの仕組みや使い方について説明を行った後、押す側と乗る側の体験をされ、車いすで生活されている方の気持ちや操作する際に注意するポイントについて学ばれました。高齢者疑似体験では、重りや眼鏡等を装着し、歩行や座って立ち上がる動作、電話帳調べを実践され、おとしよりの方の体の変化や特徴、生活の様子について学ばれました。体験された学生からは、「車いすの開き方・閉じ方を初めて知った」「実際に体験したことで体の状態や体がどのように動くのかが分かった」「相手の方のことを考えた声掛けや手助け（体を支える）が大切だと思った」等の感想が聞かれました。また、登下校の道中や部活動等で地域の方々と身近にお会いする機会が多い学生の皆さんですが、多くの気づき・発見と併せて、「今回の体験を思い出して進んで動けるようになりたい」といった思いも持たれたようです。



車いす体験の様子



高齢者疑似体験の様子



～ボランティアに参加して笑顔で今年をしめくろう!～

年越しそば配食事業 ボランティア募集中!

「年末年始をおとしりのみで過ごされるご家庭へ年越しそばをお届けしたい」という思いで始まった年越しそば配食事業も、民生委員児童委員さんやボランティアの皆さんのご協力により、今年で30回目を迎えます。現在、年越しそばをお届けする“配食ボランティア”を募集しています。年齢は問いません。皆さんのご応募をお待ちしています。

【とき】12月31日(火) 午前中(1～2時間程度)

【申込み締切】12月20日(金)

【お申込み・お問合せ】あいあむ(平生町社会福祉協議会) TEL: 56-8000

お電話または右のQRコードよりお申込みください。



※定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

※詳細はボランティアの方に直接ご連絡いたします。



2025年のカレンダーを集めています

新しい年のカレンダーをお一人暮らしのお年寄りのお宅へ届ける活動をしています。ご自宅で使われないカレンダーがございましたら、あいあむまでお寄せください。皆さまのご協力をお願いします。

訂正とお詫び

社協だより10月号P2の赤い羽根共同募金ポスター受賞者の氏名に誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。

(正)最優秀賞 平生中学校2年 井手 みこと さん

平生町菊の会
田布路木 藤本
光雄様

社会福祉資金

小森 梅本 富子様
小森 古道 明様
小森 藤川 公佑様
小森 西村 悦男様
御主人 御母堂 御令室 御母堂
宏美様 芳恵様 幸子様 文子様

香典返し

◆ご芳志ありがとうございました◆

(10/15/11/28迄)(順不同)

